



学校教育目標 豊かな心を持ち かしこく たくましい子供の育成

めざす子供像 思いやりの心を持ち 礼儀正しく行動する子供 [なかよく]
 自ら学び 対話を通して 深く考える子供 [かしこく]
 よく食べ よく運動し 命を大切にする子供 [たくましく]

・子供の実態 ・家庭や地域の実態 **ふるさとの未来(あす)を創造する八田の子供** ・保護者の願い ・地域の願い

めざす学校像

- 1 仲よく助け合い、笑顔の集う学校
- 2 学ぶ楽しさにあふれる学校
- 3 整然とした、美しい学校
- 4 安全で安心な居場所としての学校
- 5 ふるさと八田とともに歩む学校

めざす教職員像

- 子供とのふれあいを大切にし、子供とともに成長する教職員
- 学び続ける姿勢をもち、創意工夫して実践する教職員
- 報告・連絡・相談を大切にし、目標に向かって協働し合う教職員
- 心身ともに健康で、子供、保護者、地域、同僚から信頼される教職員
- 働き方を見つめなおし、ワークライフバランスを実現する教職員

<本年度の学校経営の重点>

- (1) 小中一貫校として、またコミュニティ・スクールとしての特色を生かした教育活動を展開し、全職員によるカリキュラムマネジメントを通して、より実効性のある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 学習指導要領のねらいに即し、確かな学力と求められる資質・能力の育成に努める。
- (3) 豊かな心を育み、学校に来ることが楽しみに思える心地よい集団づくり・人間関係づくりに努める。
- (4) 命、体力、健康・安全、食育に関する指導の充実に努める。
- (5) 多様な学びの場を通して特別支援教育を推進し、その充実に努める。



具体的な取り組み内容

小中一貫・CSの推進

- 「学習」「子供」「教職員」「学校・家庭・地域」の4つを小中でつなぐプロジェクトの推進
- あらゆる教育活動を通して”伝え合う力”の育成
- 小中一貫教育の取組の評価と改善
- 地域や家庭と目標を共有し、協働していく「地域とともにある学校」づくりを推進

確かな学力の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- 1人1台端末などICTの積極的な活用による情報活用能力の育成
- 目標や学習計画を子供と共有し、適切な評価を行う、指導と評価の一体化
- 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化

豊かな心の育成

- 自他の大切さを認めるための人権感覚の涵養
- 考え、議論する道徳への授業改善
- よりよい信頼関係・人間関係の構築
- Simpleプログラムの実施
- 悩みや困りごとを相談しやすい関係・環境づくり
- Q-Uやいごこちアンケートなどへの丁寧な対応
- 「いじめ0宣言」の取組といじめ対応会議の開催

健やかな体の育成

- 「いのちの授業」とSOSの出し方教育の実施
- 実践的な訓練による自助の精神と実践力の育成
- 体育の授業の充実と休み時間の外遊び推奨
- がん教育、薬物・ネット依存防止教室などを活用した生活や生活習慣の振り返り
- 「早寝・早起き・朝ごはん」による望ましい生活リズムと食習慣の確立

特別支援教育の充実

- 支援学級と通常学級との交流による子供たちの「かかわる力」の育成
- 全職員の共通理解と協働による指導と支援の充実
- 個別の教育支援計画と合理的配慮を共有し、一貫性のある指導と支援の推進
- 保護者との連携および関係諸機関の有効活用
- 教職員の専門性向上のための学習会の実施

学級・学年経営の充実

- ①子供理解に基づく指導と支援
- ②チーム担任制に基づく学級・学年集団づくり
- ③あたたかな人間関係の構築と深化
- ④情報共有と目標・取組の共有
- ⑤保護者や地域との連携・協働
- ⑥授業規律の確立(聴く姿勢等)
- ⑦学習習慣の定着
- ⑧HPによる情報発信と各種たよりの発行
- ⑨保護者や子供を守る会と協働した登下校指導

法令・学習指導要領・教育大綱・指導指針を踏まえた教育活動

第2次南アルプス市教育大綱

理念 「南アルプス市の未来を創る人づくり」

- 目標1 生きる力を育む学校教育の充実
- 目標2 郷土の歴史的・文化的資源の活用と伝統文化の振興
- 目標3 生涯にわたる学習環境の整備・充実

2026年度 山梨県学校教育指導指針

- 教育振興基本計画を踏まえた取組の推進
- ◇未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進
 - ◇誰もが可能性を伸ばせる教育の推進
 - ◇教育DXの推進
 - ◇学校を取り巻く教育環境の整備